

小松島市の有機農業に関する取り組みについて

～過去・現在・そして未来へ～



小松島市役所農林水産課

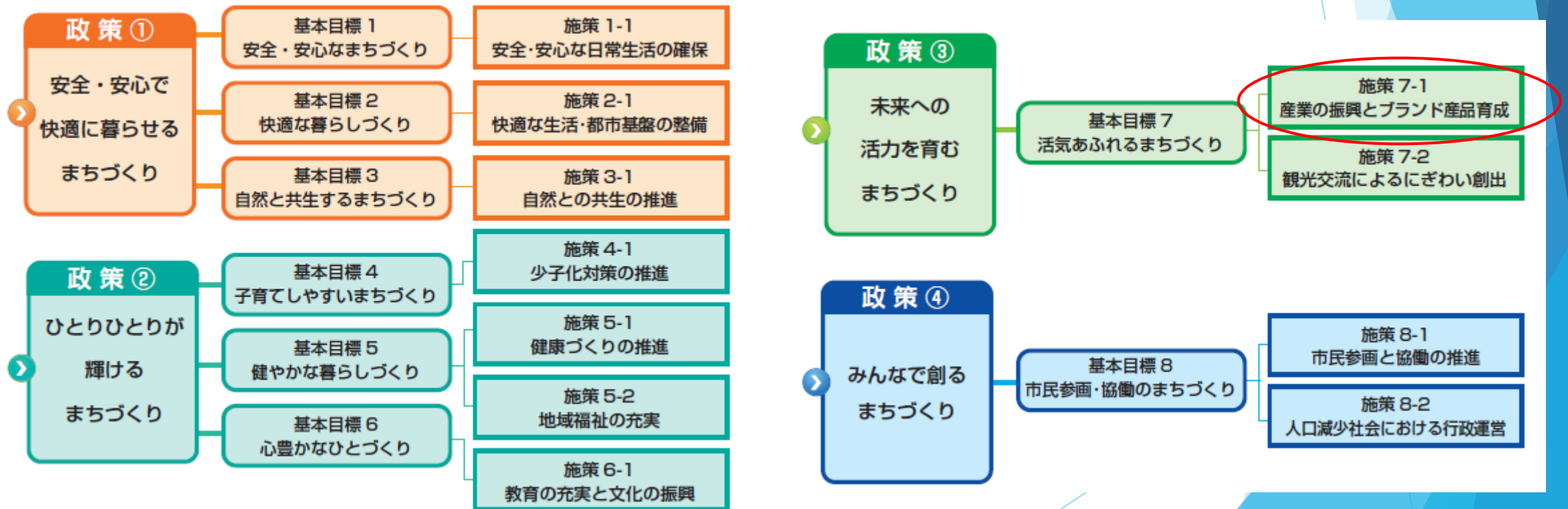
小松島市についての概況

人口 38,102人（平成30年9月末日）

面積 45.37 km²

小松島市第6次総合計画の策定

2017年4月1日～2027年3月31日までの10年計画



小松島市第6次総合計画における農業

基本目標7 活気あふれるまちづくり

施策7-1 産業の振興とブランド産品育成

- ブランド産品育成 地産地消及び6次産業化の推進
- 次代を担う人材育成・支援

- 環境に配慮した農林水産業の推進

- (重要事項) 安全・安心な農林水産物等の生産に向けた支援
- (重要事項) 生物多様性農業の推進
- (その他事項) 小松島市有機農業推進計画（平成24年2月策定
現在第2期期間中）に基づいた高品質・
多収穫な有機農産物の生産拡大 等

- 生産基盤の整備及び保全
- 魅力ある農産漁村づくり



(画像1) 小松島市第6次総合計画表紙

小松島市の農業の概況

農家数（戸）					
	専業	第一種兼業	第二種兼業	自給的農家	合計
平成12年	213	198	906	132	1,449
平成17年	272	170	724	228	1,394
平成22年	248	167	644	277	1,336
平成27年	327	66	510	263	1,166

経営耕地面積（a）				
	田	畑	樹園地	合計
平成12年	129,276	4,002	17,868	151,146
平成17年	112,325	3,339	11,963	127,627
平成22年	114,014	4,490	7,924	126,428
平成27年	101,134	4,064	5,465	110,663

産地戦略作物
オクラ、タマネギ、ブロッコリー
平成29年度環境直接支払による有機農業者数
31名

出典：農林水産省「農林業センサス」

小松島市生物多様性農業推進協議会の発足

項 目	内 容
設 立	平成22年3月1日設立
構成団体	生物多様性農業に取り組む農業者、東とくしま農業協同組合、生物多様性に関連する地元企業、小松島市認定農業者連絡協議会、NPO法人とくしま有機農業サポートセンター、NPO法人里山の風景をつくる会、コープ自然派事業連合徳島県、小松島市、小松島市農業委員会、小松島市教育委員会
会 長	小松島市長 濱田保徳
主な取組	・ 生物多様性保全に配慮した持続可能な循環型農業の推進 ・ 担い手農家、新規就農者の育成支援 ・ 安全・安心な農産物の供給とブランド化



(画像2) 総会の様子

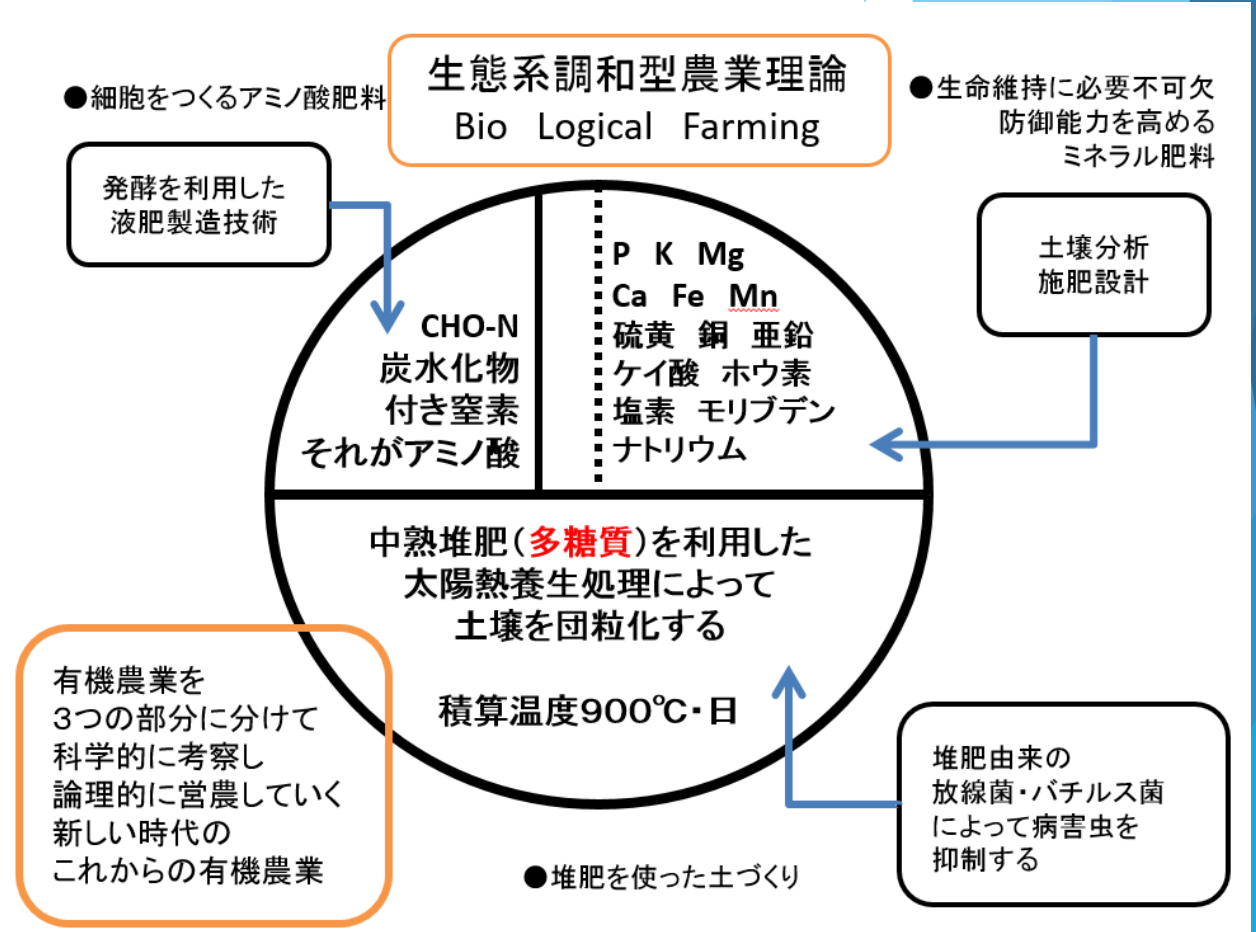
栽培技術講習会の実施

- ▶ 農林水産省「オーガニックエコ農産物安定供給体制構築事業」を利用



▶ 講師・小祝政明 氏

一般社団法人 日本有機農業普及協会代表。今まで正面切って論じられてこなかった「有機栽培の科学」にせまり、圃場の土壌分析により、有機栽培を科学の視点で数値化し、データを駆使した技術の高精度化を確立し、**BLOF理論（Bio Logical Farming・生態系調和型農業理論）**を提唱。経験やカンに頼るだけでなく客観的なデータによる有機農業の実践を指導。



(画像3) BLOF理論概要

B L O F 理論を用いた水稻栽培の推進

●県内産肥料・堆肥の積極的活用



(画像4) (株)豊徳による“みみず覆土”



(画像5) オンダン農協による“なっとく有機”

●協議会独自の認証制度



各種要件を設定し認証制度を設定。各種イベント等にてPRを実施

(画像6) 認証米シール

●インストラクターによる指導



土壌分析・施肥設計を、生産者自身で実施できるよう指導

(画像7) 生産者による土壌分析

●勉強会の実施



定期的に勉強会を実施して生産者の技術の向上をはかる

(画像8) 勉強会風景

→ 水稻（有機・特別栽培）作付面積は
平成27年度2,500a → 平成29年度3,451a へ増加

オーガニック・エコフェスタの開催

- ▶ 有機農業技術者向けの会議と、一般消費者への有機農産物PR両方の面がある。
- ▶ イベント内では、栄養価コンテストを実施して高品質の野菜の生産者を表彰。
- ▶ 実行委員会は複数の団体で構成されており、小松島市も運営メンバーに参加している。
- ▶ 平成23年度より実施。今年度は、平成31年2月23日・24日小松島市にて開催予定。
(2月22日はプレイベントもあり)



(画像9) 栄養価コンテスト受賞式



(画像10) 消費者イベント風景

学校教育との連携

▶ 生きものの調査の実施

N P O法人や地元生産者、土地改良区等の協力を
得て、児童らを対象に市内の田んぼや水路で実施
→平成29年度は、合計7回実施

▶ 生きものの図画・川柳コンクールの実施

小松島市内小学生に、夏休みの課題として
「田んぼの生きものとのふれ合い」をテーマに
コンクールを実施。

→平成29年度は図画60作品、川柳が126作品
の応募あり

▶ 学校給食との連携

→平成29年度協議会会員による農産物の実績
認証米：60.7kg 提供
小松菜：374.4kg 出荷



(画像11) 図画・川柳展示風景



(画像12) 生きものの調査風景

今後の課題

野菜の生産地としての基盤を整える必要がある



地域循環型農業の一層の
推進を図ることが可能

ハウス団
地の形成

新規就農者
の受け皿

高性能堆肥
の生産

新規就農者や移住者を受け入れる
ための体制を整える



地元資源（菌床しいたけの廃菌床
ブロック）を利用した良質な堆肥
の生産

